

単元名

和の文化について調べよう

「和の文化を受けつぐ—和菓子をさぐる」(東京書籍)

令和4年11月4日  
男子11人 女子11人  
計22人

本単元で育成する資質・能力

知識・技能/論理的思考力・判断力・表現力/主体性・積極性

1 単元について

I : 【考え・基礎知識】

必要な情報を見つけたり論の進め方について捉えたりする。

C : 【つながり】

和の文化の魅力を伝えるパンフレットを作成する。

E : 【応用・ひろがり】

自分の考える和の文化の魅力について共有し、文化の魅力について他学年に発信する。

児童の実態

- 令和3年度標準学力調査では、「情報と情報の関係について理解し、中心となる部分の語を見つけて要約している」に関する問題の正答率が61.1%であり、自分の伝えたいことと関連付けながら必要な情報を選んだり組み合わせたりすることに課題がある。 —①
- 令和4年度全国学力・学習状況調査国語では、「互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる」の設問において正答率が53.8%であり、自分がどの立場の意見をもっているのか、自分の考えの根拠を明確にして、自分の考えを書いたりまとめたりすることに課題がある。 —②
- 前の単元の活動の見取りにより、目的意識や相手意識をもって取り組んだ児童は50%であった。目的意識や相手意識をもって、情報を発信することに課題がある。 —③

教材について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語科第5学年内容「B 書くこと」の(1)エ「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。」と「C 読むこと」の(1)ウ「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。」に示されている指導事項である。
- 本教材は、伝統的な文化に関するものの中で児童が想起しやすい和菓子を題材としており、序論・本論・結論が明確な文章である。  
→文章全体の構成や展開を考える学習へつなげることができる。
- 説明に合わせて写真や図表などの資料が用いられている。  
→報告の文章をパンフレットにまとめる際の資料の活用へつなげることができる。

単元の目標

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。  
【知識及び技能】(2)イ
- 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。  
【思考力、判断力、表現力等】B (1)エ
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。  
C (1)ウ
- これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、学習の見通しをもって必要な情報を見付けたり論の進め方について考えたりし、書き表し方を工夫して調べたことをまとめる。  
【学びに向かう力、人間性等】

パフォーマンス課題とその特徴

野外活動で「陶芸体験」や「竹細工体験」など、和の文化について興味をもたせる機会を設定すると共に、体験活動を通して和の文化の奥深さを感じさせる。また、音楽科「日本の音楽を親しもう」の学習を通して、和の文化には、いろいろな分野があることを感じさせる。これらの学習と関連付けて、教材「和の文化を受けつぐ」に出会わせる。筆者が伝えたいことを読み取る中で、「自分たちが和の文化を受けつぐために和の文化の魅力を伝えたい。」という思いをもたせる。そして、自分の伝えたい和の文化の魅力が伝わるように書くためには、論の進め方や書き方を工夫する必要性を知り、課題解決に向けて必然性をもって文章を読み進められるようにする。その後、身近な和の文化や好きな和菓子などの、興味をもった和の文化の魅力をグループで協力してパンフレットにまとめる。この時、自分たちの考えがより伝わるよう助言し合う活動を設定する。また、情報を収集する際には、様々な和の文化を調べることができるよう、和の文化に関する本のコーナーを教室に設ける。さらにパンフレットを作成した後、学級で共有し合うことで、和の文化に対する考え(魅力)を広げる。共有する活動の中で自分の考えを相手と分かりやすく伝える方法を再認識する。これらの活動を通して、本単元でつきたい資質・能力を育成できると考える。

指導のポイント

- ① 目的に合わせて必要な情報を選んだり組み合わせたりすることができる教材本文一枚シートを活用する。効果的な資料の使い方と文章構成を一目で捉えたり、観点のまとまりを意識させて読ませたりすることで、パンフレットの作成につなげられるようにする。
- ② 自分の考えを効果的に書いたりまとめたりする方法を知るために、筆者が用いた写真や図表をロイロノートで配付する。また、自分の考えの根拠を収集するときには、ロイロノート上に「和の文化」についての提出箱を作成して児童がいつでも和の文化の写真や資料を蓄積していきける環境を作る。
- ③ 和の文化を他学年に発信することで、よりよく伝えようとする気運を高め、論の進め方や資料の選択について児童の試行錯誤を促すことができると考える。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習指導要領	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。	引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	粘り強く、文章と図表などを結びつけて論の進め方や書き表し方を工夫して、和の文化の魅力をパンフレットにまとめようとしている。
校区で設定した資質・能力	知識・技能	論理的思考力・判断力・表現力	主体性・積極性

### 3 単元の計画 (全14時間)

次	時	学 習 内 容	評 価				他教科等との関連
			知	思	態	○評価規準 (評価方法)	
単元前		<p><b>(本質的な問い)</b></p> <p>自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりする力を高めることは、私たちの生活をどのように豊かにするのだろうか。</p> <p><b>課題の設定 (学行・音)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野外活動で陶芸体験や竹細工体験をさせたり教師が祭りで使われる横笛を吹き聞かせたりすることで「和の文化」について興味をもたせる。和の文化の魅力を伝え合うゴールを設定する。</li> </ul>				<p>○ 評価規準 (評価方法)</p>	<p>学校行事 「野外活動」</p> <p>音楽科 「日本の音楽に親しもう」</p>
			<p>自分の考えが相手に伝わるようにするには、どうすればよいだろう。</p> <p><b>課題の設定 (国)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「和の文化」について考え、学習の見通しを立てる。</li> </ul>			<p>○ 身の回りにある「和の文化」について関心を持ち、グループで調べてパンフレットを作るという学習の見通しをもっている。(ノート)</p>	
第一次	1						
第二次	2	<p><b>情報の収集</b></p> <p>和の文化について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文を読み、文章の構成を捉える。</li> </ul>	○			<p>○ 「序論・本論・結論」に着目し、文章が五つの意味段落に分かれることを捉えている。(ノート)</p>	
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を読み、筆者の説明の観点と序論の内容を捉える。</li> </ul>	○			<p>○ 筆者の説明している観点と序論の内容を読み取ることができる。(観察・ノート)</p>	
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>本論1を読み、書かれている内容と関連付けて、論の進め方と筆者が用いている年表の効果について考える。</li> </ul>	○			<p>○ 論の進め方や資料の効果について文章と資料を結びつけて考えている。(観察・ノート)</p>	
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>本論2を読み、書かれている内容と関連付けて、論の進め方と筆者が用いている写真の効果について考える。</li> </ul>	○			<p>○ 論の進め方や資料の効果について文章と資料を結びつけて考えている。(観察・ノート)</p>	
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>本論3を読み、書かれている内容と関連付けて、論の進め方と筆者が用いている写真の効果について考える。</li> </ul>	○			<p>○ 論の進め方や資料の効果について文章と資料を結びつけて考えている。(観察・ノート)</p>	
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>結論を読み、本論で読み取った内容を根拠にして筆者が読者に伝えたいことを考える。</li> </ul> <p><b>【本時】</b></p>	○			<p>○ 本論で読み取った内容を根拠にして筆者が読者に伝えたいことを表現している。(観察・ノート)</p>	
	8	<p><b>整理・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文を読み、筆者の伝えたいことと、その手法をまとめる。</li> </ul>	○			<p>○ 筆者の伝えたいことと、その手法(論の進め方、資料との関連)を考えている。(観察・ノート)</p>	
							<p>並行調べ活動(和の文化に関わる資料)</p>

第三次	9	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>収集した情報の中から、使用するものを選ぶ。</li> </ul>	○	○	○ 集めた情報の中から比較・分類・関連付けをして、自分の伝えたい物と関連のある資料を選んでいる。(ロイロノート)
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>紹介するためのパンフレットの下書きをする。</li> </ul>	○	○	○ 伝えたいことに合わせて、論の進め方や資料の効果的な使い方を考えて、パンフレットを作成している。(ノート)
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成した下書きを読み合い、助言し合う。</li> </ul>	○	○	○ 友達が作成した下書きを持ち寄って読み合い、伝えたいことを効果的に伝えられているか助言する。(観察・ワークシート)
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>紹介するためのパンフレットを作成する。</li> </ul>	○	○	○ 下書きを基に、丁寧にパンフレットを作成している。(作品・ロイロノート)
	13	<p><b>実行</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いのパンフレットを読み合う。</li> </ul>	○	○	○ 互いのパンフレットを読み、和の文化の魅力に対する考えを広げている。(ワークシート)
単元後	14	<p><b>振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元を振り返り、自分の考えを伝える方法についてまとめる。</li> </ul>	○	○	○ 自分の考えを効果的に伝えるための、論の進め方や資料の使い方を理解している。(ノート)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>作成した和の文化の魅力を伝えるパンフレットを掲示し、原小学校の児童に向けて発信する。</li> </ul>			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">           自分の考えを伝えるためには写真や資料を使って説明するなど、色々な方法があると思った。         </div>

4 本時の展開 (本時 7/14)

(1) 本時の目標

- 本論で読み取った内容を根拠にして、筆者が伝えたいことを考えることができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て ☆生徒指導の三機能につながる手立て	評価規準 (評価方法) ○教科の指導事項
課題の設定	1 本時のめあてを確認する。	<p>これまで筆者は、読み手を納得させるためにどんな工夫をして、何を説明してきましたか。</p> <p>◇ 筆者が行ってきた論の進め方や資料の使い方について振り返らせる。</p> <p>◇ 筆者が何を伝えたいのかを捉えさせるために、教科書P150・L6～P150・L13を音読させる。</p> <p>筆者が読者に伝えたいことを読み取ろう。</p>	<p>年表を使って歴史を説明してきました。</p> <p>具体例を挙げて、他の文化との関わりを説明してきました。</p> <p>写真を用いて、和の文化を支える人々について説明してきました。</p>
情報の収集	2 本時の問いを共有する。	<p>結論を読んで、私たちは「和の文化」を受けついでいくために何をしなければならぬと思いましたか。</p> <p>◇ 筆者の考えを深く読み取らせるために、教師の考えを述べて、揺さぶりの発問をする。</p> <p>考えるだけでいいのですか。</p> <p>なぜ「和菓子」がなくなつてはいけぬと思いますか。</p> <p>◇ 本文や資料で確認させる。</p>	<p>それぞれの和の文化にどんな歴史や文化との関わりがあるのか、どんな人がそれを支えているのかを考えることです。</p> <p>いや、いけぬです。</p> <p>考えるだけでは、すたれてしまう、消えてしまう、なくなってしまう。</p>
整理・分析	3 個人思考をする。	<p>なぜ「和菓子」がなくなつてはいけぬと思うか、これまでに習ったことを振り返りながら、自分の言葉で理由を書きましょう。</p> <p>◆ 例文(型)を示す。</p> <p>◆ 早くできた児童に考えた部分を撮影、提出させ、悩んでいる児童へのヒントカードとする。(ロイロノート)</p>	
整理・分析	4 全体交流をする。	<p>◇ 個で考えたことを全体で共有する。</p> <p>◇ 適宜、揺さぶりを入れる。</p> <p>☆【共感的人間関係】互いの思いや考えを受容する雰囲気を作ります。</p>	<p>和菓子は、長い歴史を通して、今に伝わる日本の伝統的なものだから。</p> <p>和菓子は、たくさんの人たちに支えられて、大切にされてきているものだから。</p> <p>和菓子は、私たちに日本の特徴である四季を感じさせるものだから。</p>
整理・分析	5 まとめをする。	<p>もう一度聞きます。なぜ「和菓子」がなくなつてはいけぬと思いますか。まとめましょう。</p> <p>和菓子は、日本の伝統だから。</p> <p>和菓子は、日本の自慢だから。</p> <p>日本人にはなくてはならないものだから。</p> <p>受けついでいけぬければならないものだから。</p> <p>【まとめの例】</p>	

		<p>和の文化は、長い時を経て、それぞれの時代の文化に生まれ、歴史や文化と関わり、様々な人に支えられて継承されてきたものである。だから和菓子をはじめとする和の文化は受けついでいくことが大切である。</p>	<p>○本論で読み取った内容を根拠にして、筆者が伝えたいことを表現している。(観察・ノート)</p>
<p>振り返り</p>	<p>6 振り返りをする。</p>	<p>和紙や和楽器など、和のつく言葉は色々ありますね。では、振り返りをしましょう。</p>	<p><b>【振り返りの例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>和菓子は、長い歴史の中で、外国の影響を受けながら日本の職人さんの技術でより美しく美味しいものになってきました。それを楽しむ人々が日本の伝統的な年中行事等で食べることにより文化として受けつがれてきました。だから私たちも和の文化を受けついでいきたいです。</li> <li>和のつく言葉はたくさんあります。それぞれの文化や歴史についても調べてみたいと思います。</li> </ul>